

LEGACY

TOURING WAGON / B4

2.0GT spec.B

tuned by **STI**

600台限定
(ツーリングワゴン・B4合計)
受注期間 2008年2月末迄



New concept off driving, tuned by STI.

かつてないほど、美しい走りのために。

ここには、レガシイでしか辿り着けない走りの境地がある。ここには、STIでしか知り得ない走りの真実がある。

目指したのは、クルマとドライバーとの新たな一体感。そして新たな走りの姿。サバンナで鍛えられた野生動物のように、ドライバーの操作に、その全身が俊敏に反応する。

クルマにかかる力をあるいは受け止め、あるいは受け流し、4つのタイヤがしなやかに大地を蹴る。

ボディ、サスペンション、タイヤ・・・。クルマを構成するすべての要素が滑らかなハーモニーを形成することで、美しい躍動感が生まれる。

グランドツーリングカーとして、途切れることのない進化を続けるレガシイ。STIマイスターの“調律（チューニング）”を経て、その走りはさらなる深化を遂げていく。



PHOTO:レガシイ ツーリングワゴン tuned by STI サテンホワイト・パール

L E G A C Y B 4 t u n e d b y S T I



L E G A C Y T O U R I N G W A G O N t u n e d b y S T I





“しなやかな強さ”、
それは進化したダイナミズム。

グランドツーリングカーとして、高い基本性能を備えているレガシイ。その卓越した走りは、低重心・左右対称レイアウトのSYMMETRICAL AWDと高剛性ボディを磨き続けることによって実現したものである。tuned by STIでは、このレガシイならではのドライビングテイストをさらに深めるため、新たなボディチューニングの考え方を取り入れた。ただボディを硬めるのではなく、レガシイ本来の高剛性を活用し、路面からの力をしなやかにコントロールする。それを実現するためのアイテムの一つが、新開発の「フレキシブルタワーバー」である。従来のストラットタワーバーがボディ剛性向上に寄与するのに対し、これは路面からの力を適切にコントロールする。強く、しなやかなボディ。新世代のチューニングがもたらす新世代の走りがここにある。

トータルバランスを極める。

サスペンションのチューニング手法にも新たな理論を取り入れた。今回のtuned by STIは、ボディチューニングの進化に合わせて大幅に減衰力特性を変更したSTIオリジナルチューニングのビルシュタイン製ダンパーを採用。スプリングはローダウンを最小限に留め、走行性能の向上とレガシイ本来のテイストを絶妙にバランスさせている。さらにタイヤは225/40R18へとサイズアップされ、18インチの新製アルミホイールと組み合わされて高い限界性能をもたらす。クルマをトータルで考え、さらなる次元を目指すSTI。tuned by STIには、そのノウハウがシャシー全体に活きているのである。



水平対向エンジンとの、
より深い対話。

市街地や家族とのドライブでは、スムーズでジェントルな走りを愉しむ。ワインディングでは、シャープなスポーツ感覚を味わう。「SI-DRIVE」は、レガシイより深い愉しみを与える、まさに「革新」のシステムである。今回のtuned by STIでは、この先進テクノロジーに“STIの感性”というソフトウェアを注入した。tuned by STIに相応しい駆動力マネージメントを実現するため、エンジンを電子制御するECU、AT車はさらにTCUを専用チューニング。アクセル操作に対するレスポンスを高めるとともに、エンジニアが徹底的に走り込み、3モードそれぞれの特性に合わせたセッティングを施した。特にこだわったのがIntelligentモードである。発進時からリニアな特性とし、環境性能と走る歓びを高次元で融合している。水平に並ぶピストンが互いの振動を打ち消し合い、滑らかな回転フィールを誇る水平対向エンジン。ぜひSI-DRIVEとアクセルワークを駆使して、この世界でも希有なパワーユニットとの対話を愉しんでいただきたい。

- ECU=エンジン・コントロール・ユニット
- TCU=トランスミッション・コントロール・ユニット
- SI-DRIVE=SUBARU Intelligent Drive



ペダルコントロールを、思い通りに。

手に比べて、足で微妙なコントロールを行うのは難しい。STIがこだわるのは、足を使っても、ステアリング操作と同じように思い通りのアクセル操作・ブレーキ操作ができるのである。少しか躊躇しないのに、思った以上に加速してしまうような走りは望ましくない。今回のtuned by STIでは、アクセル操作に対するエンジン出力特性に独自のアレンジを加えることで、スピードをよりコントロールしやすいようにしている。ブレーキは、微妙なコントロールが行え、さらに踏み込んだ時の剛性感に優れるブレンボ製ブレーキを採用。「止まる歓び」までも感じていただけるブレーキに仕上げている。



走りを極めたいという強い情熱。
そこからSTI Performanceは生まれる。

STIの使命。それは“走りを極める”ことである。
同時に、自分の思い通りにクルマを操れる感動をお届けすることである。
スペックを高めるのは単純だが、感覚は複雑、かつ曖昧だ。
たとえ速く走れても、乗る人の意思に反するようなクルマに感動は無い。
だからこそ、徹底的に走り込む。従来の概念とは違うドライビングの真実が、
ドライバーの視点から見えてくることもある。
tuned by STIの全身には、私たちが走り込むことで培った
技術とこだわりが込められている。いわば、STIの走りに対する情熱の結晶なのだ。
世界一思い通りに走れるクルマ、そして世界一感動できるクルマを造るために。
最高の技術と崇高なスピリットを込めた“STI Performance”を目指して、
私たちは今日も走り続ける。

スバルテクニカインターナショナル株式会社
車両実験部

辰巳 英治



STI—— STIは、SUBARUワークスとしてWRC(FIA 世界ラリー選手権)を頂点とするモータースポーツに挑戦。そこから得られたノウハウを、量産車やスポーツバージョンなどにフィードバックしている。モータースポーツの経験は、ただ速さの追求のみに活かされるのではない。いかに安全に走れるか、いかにフラットな姿勢で走れるかといったクルマの総合力を、ハイレベルで過酷なフィールドを通じて高めているのである。

“真の一体感”を感じる。

乗る人とクルマが一体となって心地よく走る。それが、tuned by STIの目指す姿である。ステアリング操作にリニアに反応するとともに、ステアリングを切った時の姿勢までが乗る人の感覚に自然でイメージ通りであること。ワインディングで無くとも、ちょっとした交差点でもその気持ちよさの片鱗を感じていただけると思う。



“アクセルを踏む歓び”を感じる。

一回の走行で、発進・停止は何度となく繰り返される。街中での走行となれば尚更である。こうした場面でも心地よい走りを提供してこそ、本当に感動できるクルマなのではないだろうか。ペダルを踏み、意のままにエンジンが吹け上がる感触。その優れたレスポンスとトルクの立ち上がりを通じ、STIのこだわりをぜひ感じていただきたい。



直線での走りに“感動”を感じる。

たとえば直線が長く続くハイウェイ。まっすぐ走っているようでいて、無意識のうちに修正舵を加えているのが普通だ。tuned by STIでは、路面の凹凸をしなやかに受け止めることで、直進安定性をさらに高めている。轍や荒れた路面に気を取られず、ロングドライブを安心して快適に愉しめる。レガシィが培ったグランドツーリングの歓びが、さらに深まっている。



www.subaru-sti.co.jp

■モータースポーツ情報をインターネットで。www.subaru-msm.com
■モータースポーツ情報を携帯電話で。www.subaru-msm.com/i



m017B060(2007.08)

スバルテクニカインターナショナル株式会社
〒181-8577 東京都三鷹市大沢 3-9-6 富士重工業(株)東京事業所内
お問い合わせは TEL : 0422-33-7848

環境にやさしいエコドライブで、安全運転を。



富士重工業株式会社

東京都新宿区西新宿1-7-2スバルビル(〒160-8316)

スバル国内営業本部マーケティング推進部